

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-133)、  
廃棄物管理施設(108)、MOX 燃料加工施設(2-88))」

2. 日時：令和5年12月15日(金) 9時30分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 8階会議室、10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他6名

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年12月14日提出資料に基づき、設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況のうち耐震設計については、それぞれの説明の位置付けが明確になるように用語や構成を整理する。
- ・設工認申請の対応状況のうち構造設計等については、各説明グループにおける説明範囲が明確になるように説明すべき項目等を整理する。

6. 自動文字起こし結果

耐震設計について別紙1、構造設計等について別紙2のとおり。

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)
- ・ 令和5年12月14日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のカミデです。それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日は、令和 4 年 12 月 26 日に申請のあった再処理施設及び下廃棄物管理施設、
0:00:13	の設工認申請について、昨日 12 月 14 日提示のあった資料について事実確認を、
0:00:21	です。
0:00:22	規制庁側の出席者ですけども、戒律からコウノハバサキコサクカミデ。
0:00:29	ハラキシノ。
0:00:30	それでは、日本原燃の方から、出席者と資料の説明をお願いいたします。
0:00:38	日本原燃のオガセ、本日の日、出席者、
0:00:42	須賀。
0:00:43	日本原燃よりケツクノモトオガセヤマグチとあと当然セキよりウノ様。以上五名で参加して、
0:00:50	以上です。
0:00:54	それから衛藤資料の説明をいただこうと思います。衛藤審査会合系統でのご説明資料でございます。昨日提出させていただいたものですが、
0:01:07	昨日、すいません、13 日及び昨日 14 日にヒアリングいただきました内容を踏まえた修正版でございます。ですね、衛藤ちよっとう我々もですね、
0:01:19	出席者のスマートにすいませんちょっと見つけておりますこれ、構成ですねちょっとブラッシュアップしたようなところなんかもございますので、今ちょっとまだ未払いのところも含めてですね、ちょっとご説明差し上げたいというふうに、
0:01:32	考えてございます。それじゃ、すいません全体にですね、昨日のヒアリングでのご議論いただいた話も関係をさせていただいた話も踏まえまして、
0:01:42	今回ですね A、G14 の二つではなくて、また周辺のグループ、呉だけで、ひとまずは、ご説明するという構成にしても体系でございます。
0:01:58	修正のところ、ちょっとご説明差し上げますけれども、まず 6 ページ目のところでございますけれども、今回の説明のところ、ここ、
0:02:09	赤羽千葉につきまして、今回ですね、ご説明内容に平仄を合わせた記載に修正してございます。

0:02:16	それから7ページ目ですね、こちらの追加調査の進捗状況といたしまして堆積の進捗状況にかかるところも、読めるように、を記載してるところでございますけどもちょっと直し漏れになってはいますのが、
0:02:29	えーとですね、このスケジュールの中で、岩盤部の減衰定数に係る調査という、いうことで、減衰だけに引かかるようなところが、私もどんどんコガの地盤物性の
0:02:42	タブチのところもかかりますんでここを修正するつもりでございます。
0:02:47	それから8ページ目でございますけれども、ここはですね、交換審査会合と今後の対応のところ、何をコウか説明して次回に何か、
0:02:57	それ、ごめんなさい、さっきの7ページの、
0:03:03	今この質問で申し訳ないんですけど、今の室内試験の上に、はい。
0:03:08	のその現地調査のところ※*2があつて、はい。
0:03:13	岩石コア試験のロウ適用適用か。
0:03:20	だからこれ、どう、
0:03:22	測定してるわけじゃなくて、
0:03:27	室内分析でございますが、室内実験Od用いる岩石コアのオオノをノロtをですね、ノイズ方から測りまして、それを、
0:03:38	その速度構造の時のVsに対する老人ですね、ディーゼルを出すために採用してるということで、こういう書き方をさせていただいて、コサクそれで、
0:03:49	順番が逆だったらわかりやすいんですけど、
0:03:52	逆転しちゃってるのは、このろうを測るのは先行してやっていて、
0:03:58	上の方にはもう反映できてるっていうこと。
0:04:02	はい。はい。当然設計のものでございますが、さっき先にといいますか試験をし、一応ですね大気圧の試験をやったときに、全部1回の偽装で測っておりますので、
0:04:13	それが全部終わっててそれを上に反映していくということになります。わかりますすいません。説再開してください。はい。はい。
0:04:21	8ページ目でございますけれども、今回の会合でのご説明と今後のご説明に残っているところの対応関係がわかるとわかるようにちょっと修正してございまして、
0:04:34	①のデータ整理データ整理及びヒライ確認のところとそれから②データ分析のところに分けた形で今回今後というような記載にさせていただきます。
0:04:46	ですね、これちょっと直し漏れなんですけれども、この中でですね、岩石コアを用い、

0:04:53	すいません、準備等の計測の記載がですね、下から3行目のところにございますけれども、これですねイシイのですねパラメータの検討ではなくて信頼性確認の
0:05:06	ところの試験系はこういった内容でございますのでちょっとここに並べるのは、少しおかしいので横並びの観点で、この記載をちょっと改めたいと思います農業秘密はこの中からちょっと消すというふうに思っております。
0:05:22	ですね、衛藤村長事業につきましては、とですね、次の9ページのところで、見るデータの信頼性確認
0:05:32	のところの欄のところで、そのセンターのですね、整理はこの文脈で行いますということを、
0:05:40	回収すると。
0:05:41	そういう構成というふうに考えて、修正してございます。
0:05:48	ちょっと行ったり来たりで申し訳ないんですけども8ページ目のところですね、ちょっとこの後にも関わるんですけども、コマツでポツリポツリPOSでやってるんですけども、
0:06:00	ちょっとこの後ですね分析を、どの記載が、どこのですね、inシノアノ検討に当たってるかというのを、ちょっとわかりやすくする上で、
0:06:13	この工事でやっていくとこのデータの分析とごっちゃになってしまうというちょっと決定に気づきましてここを維持させていただいて、すいませんですね、その上で、
0:06:24	9ページ目のところはどうなるかと言いますと一番上のところは、大森整備
0:06:30	その下ですね岩盤の減衰定数のところは、五つその結果を項目あってこれにですね、大文字の強いOneシース引き方針。
0:06:43	ファイルと、というようなアドレスつけまして、この後、衛藤の分析のところに、
0:06:49	落ちてくる
0:06:50	いうのをちょっとアドレスを付けをさせていただくような、修正をしようと考えております。今ちょっと反映できてございません。
0:06:58	それが等は、
0:07:02	今言われてたのはイマダとCは6番までついてて、
0:07:07	データには4番がなく、データ信頼性の中に常備微動04と
0:07:12	あるんですけど、はい。今、五つありましてと言ったのはこれがどういう香り、ですね、今6番までついてるのはこれ工事費ぽつの0102030
0:07:24	で、これはDたを採取する試験に対して使う。
0:07:30	これは変わらない。すぐ彼は、

0:07:33	それは変えずに、その上のが、3軸圧縮試験ができて、こちらの方、
0:07:39	新たにアトベつけてやろうという意図でございます。わかりました。
0:07:46	規制庁ハバサキなんですけども、今例えば、
0:07:49	郡のC-06っていうのは、15ページですかね、ここに。
0:07:56	ね。はい。はい。
0:07:58	この話を、
0:08:00	ヒロキこれはアノコウノヒロキはそう、例えばちょっとさかのぼりますとさっき言っちゃいますと、1ページのコモリ、
0:08:11	文字の011の10ページ、こういう取得データってことで説明がありますよね。そうですね。さっきの椎野。
0:08:23	もどかしい、今後の審議の方針としては15ページになるわけですよね。そうですねはい。
0:08:28	これ
0:08:30	9ページの団体で、小文字のこの記号については取得データを示すものであって、大事だし、
0:08:40	口述とかですね、書いておいていただいた方が、はい。要は、後から説明してるわけですねここに9ページに出てくるんですけども、その内容については後から、
0:08:51	出てくるんならば、うん。1時、全部説明する必要は9ページの段階ではないと思うんですけども。はい。結局、大文字と小文字っていうのは意味が違いますよっていうところ、10ページの段階でですね、終了しといた
0:09:06	いただいた方がいい。わかりやすいと思うんですが、いかがですか。そうですね。
0:09:12	ちょっと脚注みたいな、そういう中ではいいと思うんですけど。
0:09:16	河内のデータの取得データの分類ですよ。わかるんでしょうか。はい。はい。
0:09:25	ちょっと今入った形で、追記することに、
0:09:41	データのところは、
0:09:44	そうですね、19ページ。
0:09:47	ところからですね、またそのデータの振り分けの表がございましたけれども、ここの表のちょっと下滝井ですね、これ先ほどのですね
0:10:01	19ページと、ちょっと平仄を合わせる唐木の
0:10:06	衛藤潔案にしたいというふうに考えてございます。それは、そのあとに、
0:10:14	で、
0:10:17	5ページのところからですけども、

0:10:20	ここからですね、これ、データの拡充、資機材各社においおいても時間調査ということで、これポツポツポツ、今コウになってますけどさっき大町変えましたからこういうところはちゃんと表、
0:10:35	じゃあそこだろうと思います。
0:10:37	ここの定義もですね、下から3行目、十時微動観測記録が、岩盤部門の減衰定数の主体をちょっと変えてしまってるんですけども、
0:10:47	これやっぱりちょっと
0:10:49	減衰定数だけにかかるところじゃなくて、
0:10:53	現在かかる信頼性のところにもなりますので、これちょっと独立させる形で、これ記載を改めて、今ちょっと対応できていない。
0:11:01	申し訳ありません。
0:11:02	というのがところでございます。
0:11:09	赤、
0:11:11	7ページの表5本平仄を合わせて、
0:11:27	ちなみに、28ページは、並び考えたらっていうコメントを随分前にしたんですけど、
0:11:34	反映されてないのは、こっちの方がいいと。
0:11:37	こう認識されてるってことなんですよ。
0:11:40	ですね、20、
0:11:43	8ページの、ここはあれ、キタノスズキ。
0:11:54	追加調査データを右に、ただ貼り付けてるだけで作る、これって何でとったのってこの部分と、
0:12:01	比較したかったっていうのが全く読み取れないんですけど。
0:12:06	そういう分析はされてないということ。
0:12:14	いただいたご指摘ははい覚えております。つまりいわゆる平面的な分布みたいな順番で並べたらっていう話だったと思いますんで、
0:12:25	はい。ストーリーですね今ちょっと言われてないところが実情でしてそれがそもそものところで上の岩盤分類図、右上にあるものがありますけれども、この辺りが、
0:12:36	ある意味、景観だったっていうようなところの話で、ここについては並べて単純に並べるで大丈夫で、ただ一方で次14とか今回消してしまいましたけれども、そういうところは多分右から並べることにすごい意味があることになるので、そういうところではちょっと、
0:12:49	そういうのははい、考えたいと思ってたんですが、
0:12:52	いや、ちょっとよく、鍋島です。
0:12:57	アノコサクです



0:12:59	適宜やってもらえばいいですけど平たんであっても多少のこぼこはあるので、
0:13:04	それがどういう結果なのかなっていうのを、
0:13:08	これ 1 次元で並べた形になるじゃないですか。だけど本当はタテコウあって、はい。
0:13:14	見づらくなっていうことだったので、はい。
0:13:18	適宜、適宜、はい。お願いします。すいません。レイアウト上の制約とかでありましたが、そういうきちんと意味のあるものが入っちゃうんですね 今日データ追加データって交付金、囲んで書いてますけど、
0:13:29	別にもうちょっと違うやり方でもそうだ。
0:13:32	何かマーキングしてるとかでもできると。
0:13:37	わかりました。はい。
0:13:38	タナベの話を。
0:13:50	うん。
0:13:54	そう。
0:13:58	マーケット競争とっていくといたしまして、30 ページの 5 選定のところですけれども、着目周期につきましてこれは建屋機器購入周期よりも、
0:14:09	沢野板井なところを行った時に、ですね長周期の設備をどう考えるのかというところ、我々ちょっと前回ですね返却明確にお答えできなかったんですけども、
0:14:23	設備全体後の今週中を対応するという形で我々が参画するということにしたいというふうにございます。思いますので、今回ですね、これタケヤのこういう主義ではなくてですねここのグループにおきまして、
0:14:36	最も固有振動数が振動数点大きい中はイトウの周期 1 秒よりも短周期側で、今回は着目しましては足しますと、
0:14:47	言ったような形で、これ、記載を修正するところのございます。それから、32 ページからすけれども、ここオオクボ 14 ポツアノオオニシポツするといましてですね、こっから先ですね。
0:15:02	分析を、まず地震観測記録に基づく贈呈から始めてるんですけどこれ実はですねさっきのアグレシブとCさんに当たります。
0:15:09	ぜひですね、C1 からCさんの順番に並べ替えます。それがちょっと今できておりません。
0:15:16	で、このページはですね、その順番を変えるということは前提として、ところの、地震観測記録に基づく同定のところですね、この情勢をどのような前提
0:15:28	系統やったのかなということの説明をこれ 32 ページは追記しているところのございます。

0:15:35	あとは並べかえ。
0:15:38	で参りますと、
0:15:40	オノと、それからですね江藤 37 ページ。
0:15:45	36%100 ページイチカワ検層の結果のご提起
0:15:49	でございます。はい。今ちょっと大井。
0:15:54	対応でき高 37 ページの右側のグラフ、これ、何かイメージ図みたいに書いていただけなんですけども、これちょっと我々ですね間の、ちょっとミスコミュニケーションでここ
0:16:04	ちゃんとした数値で
0:16:07	引いたグラフですので、いや、ちょっとインタツジ暦を入れた形のものとして、ご提示しようツシマ思いますので、その最終版ではここ、きちんとしたデータで、
0:16:18	当金庫しようというふうに考えてください。
0:16:21	で、38 ページはですね、これさ検層のDたがですね、意識が必要で、ほぼ同じようなところから出ていると。
0:16:31	で、これを、
0:16:34	一つですね、周波数移動のあるデータとしてだとなるとこういうような値になるといったようなところのこれを分析の一環として示しておりますでこれちょっと
0:16:46	有識者の方々のアドバイスも踏まえながら、ちょっと1度、こういうふうな整理をまずやっていくのが、今後の検討に繋がるのではないかということをお願いしておりますのでこういうものをつける、加えさしていただいと。
0:16:58	いうところでございます。すいません。まずポンチ絵じゃなくすっていうのはわかりましたけど。はい。
0:17:08	今言われた、矢羽根一つ目の最後が共通の傾向とって、
0:17:13	てなのというので次の山に行くと思うんですけど、はい。これは一番、三つ分けるのではなくて全部のデータをまとめて、平均化するってことを言ってる。
0:17:25	伊佐。
0:17:26	このデータの解釈としてこういうことも、
0:17:34	いやいや、ごめんなさい。
0:17:36	内容としては、全部をまとめた平均を取ろうっていうこと。相当ですはい。そこがその図でわからない。
0:17:44	表現でもわからないので、それを明確にさせていただいて、はい。
0:17:50	多少のずれが、

0:17:54	前のページはそれぞれ色分けして比較的わかりやすいんですけど、多少はずれているところがあり、
0:18:03	それをまとめる。
0:18:06	何だろう。結局それぞれもばらついてるからってということかなって気はしますけど。
0:18:11	そこら辺は話をさせていただいて、
0:18:15	とは言ってもですね平均化してるのは、
0:18:18	37 ページでいうと、オレンジ色でハッチングしてる部分ですからデータないわけですよね。はい、そうですね。はい。
0:18:27	だから、白の部分って、ガイソウですよね。
0:18:31	はい。はい。
0:18:33	はい。日本、
0:18:35	的には該当
0:18:36	タダノこの周波数特性があるって傾向他の調査っていうか、見られてるので飛ばしてもよからうというそういう判断もあるのでそうそう、おっしゃる通り、その部分が、本来ポイントであるのにそこを明示的してないっていうのと、
0:18:51	実際には平均値で出しているっていう左側のところが点々になってるっていうことで、
0:18:58	うん。何か全然わからないんですよ。
0:19:01	まずそっちがちゃんと線が引けて、それでそれを外挿してっていうのがその理由を書いてあって、さらにその先はちょっと、より一層信頼性が低いのでっていうことなんだろうな。
0:19:14	はい、アガワカシマ日本原燃、かしこまりました。
0:19:18	確認しますと、まとめて平均するにしている話、それからガイソウして話をちゃんと明記して、実線訂正をかけると、はい、いたしました。
0:19:28	が、短周期側は実線なんだとして、
0:19:34	真ん中も実線でいいですけど、何ですかね、意味合いちゃんと説それぞれ説明してくれるんです。それとちょっと色がですねすいません。
0:19:45	植野に 36 トモダ違いがあるワダナカマオオハシ are ハヤシアノ。
0:19:52	そうそうそうそう。そうそうそうそう。はい。
0:19:55	あれだからちゃんとしたやつはいるんでしょうかちょっと、ちゃんとの入れるときにも、
0:20:00	せめてそれそうだよな。
0:20:12	ちょっと行ったり来たりで申し訳ないんですけども、えっとですね、32 ページの地震観測

0:20:19	Cさんのアビルのものがございますけども、ここのですね、各記録に基づく贈呈というのちょっと言葉としていかがなもんかというところがございます地震観測記録を用いた同定と、
0:20:31	の形で、ちょっと修正を全部かけようというふうに考えております。
0:20:36	規制庁の長谷川ですけど、そこは全体のタイトルと全部連動させないといけないところで、それがあちこちで、他の部分もそうなんだけど、
0:20:49	使い方がまちまちになってるから、わかりづらくなっちゃってただけど、昨日だからEとかCとか、
0:20:59	そういうところもちゃんと全部連動させて、はい。
0:21:04	表層直すっていうのはね、だから9ページとか8ページ、9ページあたり、イダったと思うんだけど、そこで1回だからちゃんと決めたやつを後ろまで使い続けると。
0:21:14	いうそういうことだと思う。はい、わかりました。ちょっと根本的にどうかわるだろうというのではなくて、ちゃんと前に、的々なもので、後追いスミエそうでしょう。だってその説明してるするんだからさ。
0:21:30	はい。趣旨はそういう形で、そういうそれがさ、今度データのね、なんか小文字のA-101とかさ。
0:21:39	そういうのだぶっちゃうから、ちょっとわかりやすく、片方のタイトルみたいなのは文字にしとくとか、ちょっとそういう、
0:21:48	という様。
0:21:49	当たり前なんですね。
0:21:56	スズキを、はい。
0:21:57	それから次39ページ称するところがございますけれども、
0:22:05	ちょっと全体を見た時にですねこの表層、今回、分析までみんな終わったことというふうに我々ご説明するのかといったところをちょっと我々中でもにおいて
0:22:17	いろいろさせていただいた中でですね今、今回そもそもですねデータの整理まではできているそれから我々の今のデータの在り様からのコウで、こういう傾向が見られるねというところまではあるんですけども、
0:22:30	それをまたちょっと今までですねちょっと結論地区に平均だよ深度依存だよ一本だよねといったようなところまではちょっと今回ですね、申し上げるまでには少し至らないといえますか
0:22:41	まだちょっとご説明がされていないかなというふうにも思いましてその結論を見たところはちょっと削除してございます。
0:22:47	等ですね、追加調査を、も整備欠陥と効果とですね、井坂フジイ津野のところで、
0:22:56	そうですね。青点線、青野。

0:23:00	これだ。
0:23:01	ヨシダ依存をどうも示していないようにシンボのところは、そういうデータになっているところについての説明といたしましてこれ単独校であると。
0:23:12	ところが反映されてるんだらうということではあるんですけども、
0:23:18	ちょっと分析
0:23:20	なんか我々これに対する考えというのは、またちょっと改めてやっていきたいということで、あまりちょっと結論めいた
0:23:31	それから次 400、
0:23:34	先ほどと同じく本間とは廣瀬。
0:23:38	それから 41 ページは、その 40 ページに基づくですね、
0:23:45	それぞれのABCのデータを、ここを開発したところなんですけれども、これ、どれがどれのデータになるのかというのをちゃんと先ほど申し上げたアドレスに持ってて、
0:24:00	タイトルをあときちんと書こうというふうに考えてございます。
0:24:06	すいませんです。
0:24:09	40 ページと 41 ページはリンクするんだと思うんですけど前は一つのページに書いてあったの分けたのは、何て。
0:24:18	えっとですね。
0:24:21	はい。それだけ分析結果とその前は何かいわゆるas-is的な結論が 40 ページの下に書いてたつもりで、分析結果とアビルっていう段階で大丈夫です。だからそこがさ、完全に、
0:24:37	勘違いしていて、40 ページ、
0:24:40	あれがついてるんだけど結局はそこは、
0:24:44	データが全部分析その前の分析したやつが、基本的なところがまとまってるだけなんだよね。うん。多分まとめなんだよ、データ分析のね。
0:24:55	ていうだけでas-isっていうのはだからこっから先また考えないといけないんでしょっていうね。
0:25:02	トップです。その時のまとめっていうのがどういう意味合いなのかっていうのにもよるんですけど、結果がこういう傾向を示しているということの整理までまとめっていうことでいいですか。
0:25:17	そうしたときに、
0:25:20	私のもともとずっとお話ししたイメージとしては一つ一つのデータのまとめというよりは、少なくとも減衰定数とかですね、そういうパラメータごとに、何らか分析しないとそれぞれのデータの違いの意味とか、
0:25:35	そういったことがなくなっちゃうのかなとは思ってたんですけど、多分基本的に 4041 は個別の、要は減衰だったら五つもあるんだけど個別に、

0:25:46	データがそれなりにこういうふうに整理できましたっていうだけなんでね マーク、当然ここは個別個別です。そこからその次のステップの間に、 えっとですね。
0:25:57	トータルのもが入っていくと。だからその部分ってのは今回はほとん どないのよ。おっしゃる通りです。
0:26:04	いや、今の今の資料だったら資料は要りますよね。本当はここ、ここが 重要なポイントなんだけど、今回は何か間に合っていないさそうなんで、
0:26:16	その部分が、薄っぺらっていうかほぼないと。
0:26:20	いう。はい。
0:26:22	ことなんだんですけどその認識でいいんだとすると、会合ではどうする つもりかって言うとまだ分析できませんっていう、
0:26:32	ことと言われるところですけど、そうそういうことでは総合的な分析はこ れからでございますということです。わかりました。原資の一部も出てな いし、さっきの
0:26:43	表層のところだって、結論を、
0:26:48	まだ分析の結果すらわかってないし、
0:26:54	いくつか他の減衰も、ちょっとまだ最終的な個別の結論ですね、出てな いよね。
0:27:02	うん。というそういう状態だから、今回、
0:27:06	ここのデータ分析の前までいろいろデータが出てるのはそれはいいです よね。それはオッケーなので、そ、そこから先っていうのは、今後の整理 の、
0:27:17	仕方というか、見せ方みたいな、イメージでしかまだないんだろうなっ ていう多くはとらえ方を、
0:27:27	している。
0:27:30	はい、箱崎です状況はわかりました。そうすると、下水で言うとSR検層 の分で分析を深めるということですけど。そうすると、
0:27:41	地震観測記録での分析結果、
0:27:46	カーの内容と、多少の乖離が出てくるので、それをどう理解し、どう打つ か、進めていかってということが次回しっかりと載せられるということで、 規制庁のハセガワですけど、多分、S波で、
0:28:02	高平均なりで一本リニアなりバイリニアの線が多分引いてくるわけ でしょ。それを多分使って、地震観測記録、呉の、もう1回照合するんだよ ね。そうです。それが多分まだ終わっていないんで、
0:28:19	それで結果が、
0:28:21	どうなのっていうもう1回いわゆる伝達関数から、単にフィッティングす るような曲線、ちょっと、

0:28:31	引いた線と、
0:28:33	どのぐらい違ってらかっていうか、その考察っていうのが、それで多分トータルの減衰ってどう考えていこうかっていうのが出るからさっき言ったまだ埋まってない部分に、そんなのが出てくるはず。
0:28:47	なんだよね。そうですね。はい。でしたら会合でもそういった広告で進めるんだってことは言っていただければいいかなと思っております。
0:29:06	引き続きお願いします。技術予算検討結果の図、このアノオオキではなくて、データの入ったものにしていただきます。で、アドレスファームというのは先ほど申し上げた通りでございます。
0:29:21	ちょっとまだタケダて申し訳ないんですけども
0:29:24	えっとですね、30、例えば8 ページのところのですね、タンパク質、これはアビルと地域なのでポート。
0:29:34	コウはずのシートなんですけれども、この後岩石詳しく今データ取ってるんですけれども、これに当たるですね記載がないんで、これの品としての岩石コア試験については、
0:29:46	追加調査計画まで分析予定であるというようなことをやりたいと。
0:29:51	から、
0:29:52	全部こういうアドレス、こういう状況であると、いうことがわかるような記載に、修正させていただきたいというふうに考えてございます。
0:30:02	通り、
0:30:05	1 年ものです。この今更いろいろさ、順番がね、バラバラなんだけど、C1 から 5 まで今回振ったんだけれども、いろんなところで、順番が、
0:30:15	違ってらけど、この辺りっていうのは、別に分かればいいいけれども、
0:30:22	何か順番組みかえたりするんですか。
0:30:24	矢部変えをいたしますということでございます。はい。
0:30:30	藤 43 ページの 1 月の説明内容でございます。少しすぐ我々、
0:30:36	もう
0:30:38	政策間の、
0:30:40	ちょっとところがございまして、結論から申し上げますとですね。
0:30:46	まず③④は、このポツのところですねちょっと大まかに確認したいというふうに思っております。③④は、もう一つは、全国表で、
0:30:57	このタイトルの記載だけで、何をするかというのが規制庁のハセガワですけど、今さ、そのタイトルだけタイトルっていうタイトルだけにするというタイトルだけだって四つになると思うんだけど。はい。もう大体文言が決まってると思うんで。はい。
0:31:14	今の文言だとちょっとわかりづらいんで、それヨッキ言ってもらっていいですか。口頭でいいんだよ。

0:31:21	はい。内容ですよね。タイトルっていうか 4 項目を、
0:31:28	このままなんかと直そう。
0:31:31	登用項目そのものとしたしましては、衛藤、今ですね①においてらるデータの成果は、はい。
0:31:43	はい。
0:31:45	それはいい。
0:31:46	もう 1 回ちょっと。はい。
0:31:49	おっきいものが多分機能とかお待ちしてたんです。
0:31:57	等で読み上げてもらった方がいいんだけど、
0:32:01	はい、いただいた紙。
0:32:06	そうですね。我々作ったものをするものでございますけれども。すいません。1 ポツ目が、すいません。残りの追加調査結果の整理と分析結果野瀬。
0:32:16	で、二つ目が全基盤モデルグループの取得で基づく主張地盤の特徴をとらえてきた構造の説明。
0:32:24	三つのところが設計で用いる一番モデルを作成するために必要な検討項目及び検討方針。
0:32:33	それから見四つめが、設計で用いる地盤モデル、呉による入力地震動の算定結果でございます。
0:32:42	はい。
0:32:43	日本のその四つのタイプだけにするとか、そういう四つを記載。
0:32:50	結局、
0:32:54	D 一井番目のデータは、我々も残りのデータはわかってるけど、2 番目っていうのは、結局、今日
0:33:04	今回、なんていうか、もう、そこも中途半端なわけだから、全部同じようになりますここは江面がちょっと増えてるよね。はい。
0:33:14	3 番目が、かなり今の資料でも、ものすごく中途半端でしかなくて全然ここ検討されてないんじゃないかっていう気がするんで、こういうところをしっかりと検討して、
0:33:26	やらないと。
0:33:29	そこそこに対して多分、実際には as-is のものから、解析モデルっていうのは、いろいろな都合もあって、これ一般的にもだったり、
0:33:43	変わってくるわけなんでね、その考察っていうのが、やはり根拠。
0:33:49	っていうのが大事になってくるんで、3 番目をしっかりと検討しないと 4 番目に行かれないんですね。
0:33:59	ということだと思ってるんでまだだから、不十分だったら
0:34:03	タイトルぐらい。



0:34:04	イデしかない。今回我々も議論するつもりはないんだけどね。
0:34:10	はい。
0:34:10	谷野ケットクですおっしゃってる、十分理解はして、できました
0:34:16	41 ページのところでは岩盤のところまだデータが、だけでどう処理するかも、安全のところさえ決まってるんで、それをまずやって、その上の安全ができてそれをまた設計に用いるときには少し、
0:34:28	当然考え方を整理しない、これなんか単純にこう、これとこれ出してみればみたいな世界じゃないと思ってますので、そこの考え方とか持ってきたってということすら私はこれは提案できてませんので、
0:34:40	少し、3 番目の谷津オンダ百田というか大きい話だと思っておりますので、きっちり
0:34:46	準備させていただきます規制庁のハセガワですけど、基本的に今やってる丸、皆さんが言う②までっていうのは、
0:34:54	正しいしっかりしたデータをとって、それをちゃんと
0:35:01	技術的に考察して分析していくと、大抵の人が同じ結論に導けるんですよ。
0:35:09	なので、あまり普通のことをやってれば、一般的なことをやってれば、あまりそこは実は議論がないんですよ。
0:35:17	なんだけども。
0:35:18	議論は、丸さんなんだよね。
0:35:21	論点というかそこから解析。
0:35:25	実際に、要は工学的にどう見ていくかっていう世界が、多分最も、
0:35:32	コウちゅ最後ね、我々との議論はそこにあるんですよ。
0:35:38	なのでそこをしっかりと整理しないと今なんかすごい中途半端なことで、だからこういう原燃が葉っぱのことしか書かないと、いつまでたっても終わらない。
0:35:52	ここは最大の山場なんですよ。
0:35:56	はい。43 ページ、少し文章をちゃんと考えてきっちり変えていきたいと思えます。それと、当然まだ決まってないことなんかも、うん。
0:36:06	やるべきと細かいことを書いて、変な足かせが我々にとってもよくないと思えますんで、十分考えて、シンプルに書いてみたいと思えます。はい。
0:36:17	以上です。
0:36:21	修正のご説明は以上でございます。
0:36:30	これってさ、今大分直さないといけないけど、これどうすんの。
0:36:34	10、
0:36:36	作業中になります。

0:36:38	今もしますので、
0:36:43	14 時でよろしいですね。今日、今からいただき、またコメントいただいた分をすぐ持ち帰って、10 時までには再提出を考えて、
0:36:55	規制庁青柳です。
0:36:57	これは時間もあるんでできればなんですけど、12 日付もですね
0:37:04	4 ページのデータの分析、例えば先ほどお話が出た 41 ページとか 42 ページ、これ周辺グループの話なんで、コウ現象とかにも書いてあるんですけど、
0:37:15	前の資料って意外と周辺部にあっただけですよ。そちらの方は、やはりあやしいね。
0:37:25	共通の項目もあるんでちょっと難しいかもしれませんが、明らかに。はい。
0:37:30	前の資料は、括弧周辺と、周辺を含む全体とかありましたのでそこを周知させていただいております。わかりやすく、
0:37:41	42 ページにしてもらって、
0:37:46	そこに、
0:37:49	45 ページです。
0:37:55	六ヶ所 42 ページを映してもらってもよろしいですか。
0:38:01	これ、これ。
0:38:04	これで言うと今VsでVsとは構造だけなのねっていうことね。
0:38:13	すいません、今の 40、40、41、39%、404142 までをデータ分析
0:38:23	名前がいいのか、いやだから多分ね、まとめ中央データ分析ではなくて、あそこが、さっきのさっき言った②なんだよね。
0:38:36	002 の苅谷丸井の結論なんだよね。はい。でき上がるかですね。はい。うん。だからだけ。
0:38:44	5 ポツ、
0:38:46	まとめか何かね。だからデータ分析を踏まえたとか言わないけど、要は何だか、何だかの地盤の特徴を書いて、地下構造、
0:38:57	作業順番、各いうタイトルなんだよねもうね、あれがまとめなんですよね。ちょっとここ考えたいと思います。はい、わかりました。だから分析はその前のページまでなんです。はい。
0:39:10	3、39 までだと思いますんで、41 億ます。
0:39:17	はい。
0:39:20	ことだと思っよ。うん。
0:39:22	誰が 12 枚出てくるんだよ、最後。
0:39:30	最後の最後 10 枚なんかも、ある程度まとまって、2 枚目ぐらいの時期に、

0:39:36	ですけど今は玉井になってますけれども、それに今いるアサノ中に、これは今、40、4140の寒いもんだっていうことで、
0:39:46	だからそこが違いますよって言ってるので、古本さん、3×10人いるという認識。
0:39:54	うん。うん。うん。僕はだからさっき言った4本のデータ分析の話をしてなくてですね、最後のいろいろな事実モデルっていうのが、これが、これがジンボに入るんだけど、
0:40:11	ただ実はだからその中にコウをちゃんと見たときに、前にも言ったように、今は12を分けてるんだけど、
0:40:20	こいつがもしかしたら、もっとまとめていいとかってというのが、そのさっきの話としては、実はあるんだよね。
0:40:31	やるかやらないかは別ですけどね。
0:40:38	本当はだからさっきのデータ分析の前は本当に12でよかったか問題もあるんだよ、13かもしんないんで。
0:40:45	14かもしんないのよ。
0:40:50	まあまあいいですけど、
0:40:53	そういうことが一番大事なところなんで、はい。
0:40:56	こういう、今回は整理をし、仕方だけだけれども、次回以降のっていう意味では、この辺りをしっかりこうやってもらわないと。はい。
0:41:08	論点が次の本当に議論しないといけないところが何かぼけてきちゃう。はい。はい。
0:41:17	資料修正。
0:41:19	以上です。
0:41:22	はい。
0:41:24	あんまり長くやね。
0:41:26	面白い。
0:41:29	私から言って8ページは、ちょっとステータスが直し、
0:41:35	競走まだ終わってないけども、令和もそうだったみたいな感じになっておりますんで、そういうことです。
0:41:45	はい、ありがとうございます。
0:41:49	規制庁わかんないんですけど。
0:41:54	じゃなければ、
0:41:56	これで、今いただいた議論させていただいた内容を踏まえて、資料を修正して、14時提出、ちょっと作業に戻りたいと思います。
0:42:05	じゃあ、これでしましょう。
0:42:08	ありがとうございました。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	了解しました、規制庁ヤマグチですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和 4 年 12 月 26 日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、
0:00:14	また令和 5 年 2 月 28 日に申請があったMOX燃料放出の設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:24	熊崎清町側の出席者を紹介いたします。
0:00:27	と本庁会議室からアライフジワラヤマグチ。
0:00:32	イトウオクれて補佐。
0:00:35	コサク、その他WEBから、
0:00:40	以上になりますとそれでは日本原燃の方から出席者の紹介資料の説明を開始してください。
0:00:48	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:52	本年度の出席者紹介いたします。
0:00:55	ストリング椎野より、
0:00:58	イシハライシグロ。
0:01:00	タカヤ。
0:01:02	MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:07	それでは昨日ご提出差し上げました。審査会合資料の 2 ポツ側ですね、こちらの確認をしていただきたいと思います。それでは説明の開始の方よろしく願いいたします。
0:01:20	はい、宮城西原でございます。それでは、福祉社会保障費をですね昨日お出しをしたものでございます。
0:01:26	まず冒頭すいません修正漏れがありましたこととお詫び申し上げます。全体の 2 ページですが、
0:01:35	この後始まります 74 ページ以降の 2 ポツの目次を、
0:01:41	直し忘れてますので、74 ページの名称に合わせさせていただきます。
0:01:47	はい。申し訳ありませんでした。
0:01:49	本体は 74 ページからになります。まず 74 ページ、青井になってますが二つ目のポツの田井鳥井前回MOXの
0:02:00	合同設計等に係る説明と書いてましたが、最初に廃棄物MOX全体共通する事項ということで、構造設計等を踏まえた解析評価等に関する補正方針ということで整理させていただきました。
0:02:14	はい。続きまして 75 ページでございます。
0:02:19	一番直してる 75 ページの一番最初ですね、隅括弧で過去の審査会合を踏まえた経緯ということで 75 ページの趣旨がわかるように、タイトルをつけさせていただいてございます。

0:02:31	はい。76 ページ目
0:02:34	工事等の修正をしたのと、ページのリンクが間違っていましたので、これをはさせていただいているということでございます。
0:02:43	はい。77 ページからの説明グループとかの設定の話につきましては、
0:02:50	79 ページの英国最初の方の 3 行目告示のところの青字部分のところ、この河成はとりますけども最終的には、
0:03:01	10 月の審査会合での変化の説明からの変更である旨がわかるように記載を整理させていただきました。
0:03:08	また説明グループ 1 のところ、記載としては矢口のところですね、前回のやりとりを踏まえて、趣旨が明確わかりやすくなるように言葉を修正をしております。
0:03:21	はい。の 80 ページも同様でございます。一声関係だったり屋内の機器配管の耐震の話が説明すると、
0:03:31	やっぱりより記載を修正をさせていただきました。
0:03:36	はい。続きまして、82 ページからの地方ですが、まず判例を最終的な形の判例に見直しをさせていただいていると。
0:03:51	82 ページがわかりやすいか 83 ページわかりやすいですかね。
0:03:57	津波のところ、以前 77 条 34 条と 36 条分けて書いてましたが同じ様に関係するものということで合わせて書くようにしてございます。
0:04:07	また、一番右側の別グループで説明を行う項目、これもともと考えていたルールというかやり方に従って、
0:04:16	大説明グループ 1 の、市場部関連条文に関係する事項で別のグループにリンクを貼るとか飛ばすものを書くということで、
0:04:27	それとあまりリンクしないようなことで書いたものは全部削除してございます。
0:04:33	はい。あとは記載を、全体的に説明グループのヒアリングを踏まえた修正というのあわせて、した形が 88 ページまでの表ということでございます。
0:04:48	89 ページからが、鉄部、最初に廃棄物管理の説明グループ 1 に係る構造設計の対応状況でございます。は、91、90 ページすいません 90 ページの、
0:05:00	ポツ、丸三つ目のところの文章の修文をしたということ。前回のやりとりを踏まえて修文をしてございます。
0:05:08	また 91 ページ 92 ページの表ですが前回グラデーションをつけてましたがそれを外してます。すべて同じように統一させていただきました。
0:05:18	合わせて、91 ページ、92 ページで青井になって追加になっているところがありますがこれは

0:05:26	動かせるの、はい。
0:05:29	系列はですね固化セル放出系のフィルターが、気圧差荷重の関係で外傷とのリンクで今回説明グループ1の陸に飛ばされますので、もともと、
0:05:40	大人になっていたものをグループ1に上げてます。
0:05:44	ただ、すみません医療、駅をよく見過ぎまして、92ページの28条換気設備、これ今、※1で、青のハッチングしてますが、
0:05:57	11月30に出した提出資料の中にはこの情報が入ってませんので、今回、白抜きにさせていただいて、
0:06:04	資料を今後さ、提出して修正版を手続き36条と合わせて、資料を出して、審査会後でも青になるようにしていきたいと思ってます。
0:06:17	続きまして93ページ、これは94ページ以降についている、構造設計等に係る説明の、どういうものを抽出したのかということと、現状のステータスとの関係と、
0:06:31	いうことを、1枚文章は挟まさせていただきます。
0:06:35	前回もやりとりありましたがこちらでご説明してる通り、不足点がまだある状況ですが、外部商品化要求事項との関係で、
0:06:45	主たる説明事項となり得るものをピックアップしたということで、システム設計配置設計構造設計そういったものをピックアップしてそれぞれ付けさせていただいたと。
0:06:55	趣旨を書かさしていただいております。
0:06:59	はい。94ページからが、構造設計等に係る舞台の説明の資料になります。前回の鳥海もありましたので目次をそれぞれつけさせていただきます。こっから先システム設計配置設計構造設計、
0:07:15	建物構築物関係の目次があって図があると。
0:07:18	いう感じで整理をさせていただきます。右から、94ページの部長の右から2番目の大江ですかね、該当ページと書いてあるものが、その図が出てくる、登場するページ番号になっております。
0:07:31	システム設計の方は95ページの落雷関係、勤怠の話の千葉説明図がついております。
0:07:39	これも前回から修正をさせていただきます青字の部分と、もですね、ここで言う95ページの緑枠の下側、
0:07:49	10メートル以下の感覚の話に加えて、推定方向の20メートルごとの間隔の話も踏まえて、全体の
0:07:58	方に、それに関係するの説明、
0:08:01	いうことで修正をさせていただきます。

0:08:05	99 ページからが配置設計関係でございます。これも先ほどのシステム設計と同じでございます表の中の該当ページのところが、具体の図がついているページの番号に、
0:08:18	97 ページに、タカキ町の保護対象との位置関係を示す、配置設計のページを入れてございます。
0:08:27	こちら前回からの修正としましては、の中で、防護対象施設波及的影響を与える恐れがある公募対象施設を塗りつぶしているのと、
0:08:37	あとは黒い丸の趣旨を、米印で書かさせていただいたということでございます。
0:08:44	はい。
0:08:45	98 ページは特に変更はしてございません。
0:08:50	99 ページからが功労設計になります。こちら目次のページ数との関係は先ほどと同じでございます。
0:08:58	103 ページが、
0:09:02	廃棄当初、排気塔の堆積物の月を関係する構造設計の話世界より踏まえまして、降下火砕物以外に、積雪、ユキの状況ということもあわせて、
0:09:14	この中で説明が中心になるように記載を修正させていただいてございます。
0:09:20	104 ページは特に修正はしてございません。
0:09:24	105 ページ、105 ページは修正者数は左上の図、断面図ですねここに、
0:09:31	その下の平面図との関係が、
0:09:37	正確にした終わり大井という、オレンジ色の防護対象の枠を追加をさせていただいてございます。
0:09:44	はい。
0:09:46	106 ページからが竜巻防護対策設備の構造設計の目次イトウ詳細説明図ということになります。これも同じようなリンクのあり方で整理をさせていただきました。
0:10:00	108100、
0:10:02	108 ページは特に言ってませんで 109 ページが、
0:10:07	前回、5 番のところに、水色と青、濃い青で色分けてましたが、セットでムードがということで注意をしているというのは、
0:10:17	100910 とともに同じような修正でございます。
0:10:22	111 ページ、これは右上の凡例に足しさせていただいたように基礎との関係がわかるように基礎の範囲を明確にさせていただきました比木サノ範囲が、いわゆる、

0:10:34	火炎の中心線オカに進んでいる、ベースになっているということがわかるようにさせていただきました。
0:10:43	はい。続きまして112ページからが解析評価等に関する整理方針等ということでございます。まず、112ページタイトルを直したということと、
0:10:55	114ページのフローですがこれが、その前のページの、
0:10:59	123との関係を図るようということと、それぞれのボックスの中の趣旨がわかるような文章の、またはし、記載の修正ということ。
0:11:10	また、3からですね、内容の整理をした上で評価項目の設定についてバックをかけることがあるというふうに思っていますので、そういった
0:11:21	フィードバックを図ることがわかるように修正させていただいてごさいます。
0:11:28	あとは、110、126ページです。126ページは、前回のやりとり踏まえましてまず概要のところを、うまく青になっているか微妙ですが、とか、なるべく、
0:11:43	部、
0:11:44	よくなるように、記載を修正をしたというのが概要部分、また126ページの下の方のフローの中の右側の吹き出しの3.3のところの結束のコールと、
0:11:54	いうところの記載を、修正をさせていただいてごさいます。
0:11:58	趣旨は、構造物等により容量を貯留する空間の対象とならない欠損部はということで床面から立ち上がっていることを基本として、面積を対象にまずは考えますよと。
0:12:10	ただし、グローブボックス内の課題のように、一部空中に存在するものがあるので、そういったものを体積を考慮していくということで趣旨を記載を修正をさせていただいてごさいます。
0:12:21	あとは129ページ以降は、補足のタイトルがつけないということだったり、注記での代表の考え方の記載があってないところを整合をとらせていただいたということ。
0:12:35	あとは、
0:12:38	参考1の部分は、前の方野瀬本体の説明の最新の病気に合わせて修正をさせていただいたと、いうことでございます。
0:12:47	はい。2ポツ中性点の説明以上になります。
0:12:51	院長山内です。それでは規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:12:58	規制庁の荒井ですけど、まずは説明グループ
0:13:02	所さんです。ごめんなさい。まず、目次の話。
0:13:07	て言われてたところなんですけど。



0:13:09	整理方針
0:13:12	って書いて、
0:13:15	んですけど、
0:13:27	74 ページのですね、一方 75 ページは説明方針って書いてある。
0:13:36	そうなんですけど、どうかを質疑いたしました。
0:13:40	私の中で矛盾している。はい。74 ページのものに全部合わせます。はい。
0:13:46	わかりました。
0:13:51	はい。
0:13:52	その他は目次とかでまず何かあればっていうところで、過去の審査会合経緯とか、今回の説明範囲とか、
0:14:01	76 ページまでですか。
0:14:06	はい。特になければ説明グループ、
0:14:09	そっか。
0:14:12	今回
0:14:15	私が気になったのは、9、
0:14:18	これ説明グループの方でなかったです。すみません 90 ページの表の方に確認したかったんですけども、
0:14:24	すみません、じゃあ、その他他ございますでしょうか。
0:14:29	規制庁の内村です。グループの方の話で、すみません今回提出版いただいてるのって表の方の修正箇所が、
0:14:39	青色になってなかったのでもっと具体的に説明いただきたいと思っていて特にグループを変更したものを。
0:14:47	どう、
0:14:49	それがどう入っていったか特にあのグループ 7 から 1 とかっていう話があったかと思うので、そのあたりの説明を少しいただけますか。
0:15:06	いいね。
0:15:07	人間のインダでございます。平日は 80、
0:15:12	4 ページと、
0:15:13	82 ページ 83 ページもあります。成熟的額事象も等説明グループに
0:15:21	もともと進み括弧の中にさらに括弧を書いてブレークしてグループしたグループに分けたものを、全体、(2) 経理して説明グループ 1 側に入れたということ。
0:15:34	あとは、
0:15:36	83 ページの、本グループ説明グループで説明を行う関連条文のところの、八条 36 条、外傷重大事項の一番下、

0:15:47	契約書姿勢や区長層の地下化、括弧DD対象と、これはグループ名に入っていたものをグループ1に変えています。
0:15:57	あとその下もですね、その下の崩壊熱への移設冷却とこれも
0:16:04	外傷の竜巻防護対策設備との関係でグループ1で説明をするという対象にしております。
0:16:11	あとは、屋内の機器だけ後は、
0:16:19	はい。85ページの10条閉じ込め、生物学的事象とか他と一緒にですけども閉じ込めのところのフィルターの追加設置これも先ほど冒頭申し上げた複ヤスタ荷重との関係で行った関係ですと、
0:16:34	グループ7からグループ1に、86ページの28条の関係のコウカセフィルターの2段化も同じでございます。
0:16:48	これ86ページの十条とか19トンともともとあったっけ。はい。
0:16:55	沖並木耐震。
0:16:57	グループ2で32である。
0:17:02	どれだっけ。1杯さん、85ページ。
0:17:07	やんない。
0:17:09	85の配管系BA1.2井清サクマやつ。
0:17:14	右側の、
0:17:16	提携を
0:17:23	グループリーダー、もしくは
0:17:25	発注すいませんで85ページの右側ですね、別グループで含めるっていう、
0:17:30	機器の耐震関係の話もともと新居さんで、開けてと言ってたものを、に全部集めているといったことで、
0:17:38	はい。
0:17:41	同額以上だと思いますはい。
0:17:44	はい。規制庁の藤原です。わかりました。じゃあ、フィルターとかの関係は、気圧差との関係で、生物学的事象とかとも含めて、
0:17:56	グループ1のほうに整理され、
0:17:58	83ページの赤字の8036条の使用前点検によりっていうのは、これも生物学的事象の中の運用だったからここに入れたっていう理解でいいですか。はい。はい、米田でございますはい。おっしゃっていただいている通りですはい。
0:18:13	規制庁の藤原です。わかりました。85ページの一番下の閉じ込めでフィルター権は先ほどお聞きしたんですけど、太陽光し使うんですかね。こっちは話はグループ名のままってこと。
0:18:28	はい。与儀西平でございますはい。建屋内に入っている配管と、

0:18:36	でもあれですっけ。大丈夫。この系統の設計については、MOXからの排気コウから再処理が
0:18:50	低レベル廃液処理建屋で受け取るまでの間を、
0:18:54	キッカ埋設で配管が生きそのあと、建屋の中に入って、再処理の配管とジョイントするんですが、全体的には地下にあるもの、あとは安重以外だということと、建屋の中に入っている設計と、
0:19:09	いう系統設計等でいわゆる外部衝撃等との関係でいくと、防護対象にはならないということも含めて、全体の系統設計のところはグループ中で、
0:19:20	いうことで今現状は整理をさせていただきました。
0:19:25	規制庁のフジワラでスパイと考え方はわかりました。こういった整理を踏まえてその前の 81 ページの文章は、アノイトウタダ移動させて減っただけだからっていうのであれですかねグループなのは、
0:19:40	青色が特についてなくてっていう、はい。はい。すみません、明電舎でございます。はい。実際は。はい。削除されてる分だけ徳田、はい。黒字のままにしてください。
0:19:58	大体前回のヒアリングで話をしたところが整理されたっていうことだと思うんですけど。
0:20:04	同じく話題にした道道について、
0:20:08	80 ページの 1 グループ 2 の、0. 二つ目道道の地震に対する構造強度とか、もっとあって、
0:20:18	一通り堂々グループ 2 年と。
0:20:20	いうふうになってるように思うんですけど、79 ページの方を見ると、
0:20:25	化学薬品漏えいに対する防護設計と関連する道道除くとか書いてない。
0:20:32	ですね。
0:20:33	この関係を説明してください。
0:20:36	はい、日本イシダでございますはい。まずおっしゃっていただいて 80 ページでドウドウの耐震、地震に関する考慮ということはグループ 2 でということ、80 ページに書いてございます。一方 79 ページはもともと堂々と除くと、足達加来かどうか悩んだんですが、
0:20:55	堂々を除く理由として、いくつか
0:20:59	考え方があるんですけども、一つは、化学薬品の漏えいに、外部衝撃からすると、地下埋設、地下構造物なので、外部衝撃に関する設計上の考慮と、

0:21:11	いうことを語る対象にならない、地下にあるからってという意味で、どうぞシバしますけど具体の防護設計のところは特段登場しないということと、実際は化学薬品の漏えいに対する防護盤なんかの設計で、
0:21:24	説明グループに登場すると、その設計の説明が登場するということを踏まえてということ、全体を通して説明グループ2の中で、
0:21:35	説明をした方が合理的ではないかと考えて、記載をさせていただいてます。ただ化学薬品漏えいに対する防護設計と関連すると各党間どう関連してるのかっていうのと、除く理由がいまいち文章が繋がらない気もするのでもう一度後は工夫をいただければというふうには思っております。
0:21:53	コサクです。わかりにくいっていうだけでもなくて、これだと。
0:21:59	化学薬品に関連しない等々がここでやるんだという宣言になるんですけど、そうするとグループ2とバッティングすると。
0:22:08	ということで、やるのかやらないのかっていうのを明確にしてください。
0:22:15	はい、日本イシダでございます。はい。承知いたしましたはい。そうですね、各役員、
0:22:21	はい。一般のUDが言う労働もいるのでは、絶対労働に対する設計を自治体自身のやつを、グループ2でやるということが、趣旨がわかるようにさせていただきます。
0:22:40	コサクです。82 ページカラーの表で、
0:22:48	具体はまだ共通12の方が整理中。
0:22:53	そんな状況だと思うので、ブラッシュアップされるんだと思ってますけどその理解ではいいですか。
0:23:01	はい。乳井ニシダでございます。はい。
0:23:04	の全体上部コイケの条文から抜き出した隅括弧と、その累計をした要約版と言ったものの整理を並行して今やっていますのでそれとの関係でブラッシュアップ後で、必要だと思ってます。はい。
0:23:18	はい。
0:23:19	そうです。その上確認なんですけど、83 ページ。
0:23:25	先ほどの津波は据付時の考慮ということになったので、趣旨がわかるようになったかなと思います。
0:23:32	その次の赤字になっている予備品による機能維持っていうのは複数あって、バックアップが取れるよという意味でいいですかね。
0:23:44	はい。ちょうど遠いです。はい。
0:23:46	そうです。その次の待避等による機能維持っていうのはこれがちょっとよくわかんないんですけどどういう意味ですか。
0:24:01	はい。日本イシダでございます。ここは屋内退避の話であったり、

0:24:09	そっか、降水とかのやつの防水シートもここに入ってる。
0:24:14	わかりウエエダ大井。
0:24:17	頭で見えるのはやめよう。写真がわかるように書こう。
0:24:22	ここは、
0:24:23	国格好が、長ったらしくならないように隅括弧を二つにすんだ要らない。
0:24:28	場所長は絶対わかるようにしないと。
0:24:30	頭で逃げても結局何よって話になっちゃうので、ちょっと初心踏まえて記載を整理したいと思います。
0:24:37	赤坂です。そうしていただきたいんですけど、まず対比っていうのは、機能維持のため名の行為じゃないんですよね。逆行スルーはなC。
0:24:47	コウノ連想する用語なんで、
0:24:50	回避というんであれば、待機しても大丈夫なようにどう配慮したかの配慮のことを書いていただきたい。
0:24:56	はい。
0:24:58	はい。日本原燃飛田でございます。今話を、比較的の趣旨は屋内への移動、
0:25:05	Iの方が趣旨が伝わるような気がするので、それって誰ですか。火山の時の、ただ、ガレージに入れるっていうことですね。そうですね。そうですね。
0:25:18	わかるように書いてます。はい。
0:25:22	はい、細井です。その次の使用前の点検により機能維持っていうのは、
0:25:29	何。
0:25:31	気持ちはわからないですけど、何か言いたいな、誰と差別化したいんですか。はい。はい、二宮でございますこれはですね、SAの整理のときにもお話したかもしれません
0:25:45	いわゆるSA設備でも、いわゆる何だろうな。
0:25:49	回転機みたいなある種に密閉性とか侵入防止が構造上できてるものと、
0:25:58	あと車両みたいにどうしてももともとある隙間みたいのがあって、完全にそれが密閉できないとすると、動かす前に、例えば車でのボンネットを開けて変なものが入ってないかを見るとかっていうのも含めた、
0:26:12	機能維持を図るという趣旨をもともとは説明したかったものです。
0:26:18	土佐です。えーとですね、使用前点検をするのはどの機器も当たり前なので、
0:26:25	これ言われてもその今の差別化が図れないから、その
0:26:29	そっか

0:26:31	他の担保とは違う、どういう領域についてということがわかるようにしないとちょっと説明が足りないかなと。
0:26:40	はい。弓削ニシダでございます。はい。説明したい趣旨が伝わるような日本語を考えます。はい。
0:26:48	はい。
0:26:49	もし、
0:26:51	今の話で言えば上の生物学的事象の枝葉ってということになるんですよ。
0:26:57	はい、藤鳥居です。
0:26:59	はい。それがわかるようにしてください。
0:27:04	規制庁の条例指定と。
0:27:06	多分、端的に示すのが原電の場合苦手な気がして、どこまで綺麗になるのかっていったところなんですけど、少なくとも、
0:27:16	別で準備されるその共通 12 の詳細版、
0:27:20	のところでは少なくとも、どういったことが説明したいかっていうのが整理。
0:27:25	わかるように整理されてる。
0:27:28	所、今その最中ってことでいいですよ。
0:27:33	はい。いやマネージャーでございます。そうしないといけないんですね。はい。議場は同じ言葉が書いてありますので、もうちょっと考えます。はい。
0:27:43	規制庁、藤間です。はい先日のヒアリングでもそれを
0:27:48	少なく
0:27:49	ては若井
0:27:52	の最低限必要だと。
0:27:59	はい。規制庁の荒井ですけど、フィルターを 2 段つけます。つける話をグループ 1 にしたということで、
0:28:08	83 ページの一番下の第 10 条とか、
0:28:12	あと 85 ページ目の下の第 10 条っていうのは、下線が引かれるっていう理解でいいんですかね、今の整理でいくと。
0:28:24	下線は、ここの説明でクロズミヤギニシダでございます。はい、ありがとう。
0:28:33	グループで閉じ込めは終わると思うのでは、河川が必要、まだある。
0:28:40	甲斐オリタは残ってるんだね。長井アリマセンナイマダ。
0:28:45	カセンフルヤいけない。はい。
0:28:47	何だ困ると思ったので、
0:28:50	で終わってる

0:28:52	もの共用だけだと思ったら、あれ、取り組みの方も一応漏れない。
0:28:57	了解ですとしたらそのまま出ない。
0:29:04	他グループ。
0:29:06	常超過です。今回説明グループ1の方にいろいろ追加されたということで先日のヒアリング前ですねその移動は特に違和感はないんですが、
0:29:17	一方で説明グループ1は代表の設定とか困ってるっていうこともあって、その辺の検討がどこまで進んでるかっていう話もあるんですが、こういうのって、代表の
0:29:28	選定とかに影響を与えたりはどうでしょうか。
0:29:33	はい、与儀ニシダでございます。影響を与えると思ってますというよりも、すいません今まさしく、
0:29:39	提示をしてますけど、
0:29:41	原理原則として代表ヤブキの考え方を整理しても、この隅括弧が全部隅括弧に対応する代表って何だろうというのか、考えて、
0:29:54	それが全部つぶし込みができるということをまた一つの代表としての意味合いかなと思ってますので、総合に、考えながら、代表の設定をする必要があると思ってます。
0:30:04	はい。長課長。
0:30:06	なので、そういう社内の事情もあるっていうことも踏まえて、整理されてもいいのかなと思った次第ですが今回は
0:30:16	影響あるとわかりながらも、先日のヒアリングを踏まえて全部グループ1の方に、それが自然だということということです。
0:30:27	はい、与儀西田でございます。はい。
0:30:32	積み上げてフラットに行こうかなと思ってました。おっしゃっていただいてご配慮いただいている趣旨も十分わかる理解しながらも、
0:30:42	どっちの人間だって話もあるかもしれませんが、説明としての抜け漏れがあるようではやはり代表のランドとしても説明のロジックは立たないので、やはり説明すべき項目って何なのかと、全部フラットにテーブルに乗せた上で、
0:30:55	それぞれに対応するものをちゃんと選んでいくということかなと思って今作業してました。
0:31:00	成長+わかりました。
0:31:02	以上です。規制庁草場です。今回の変更した方がですね、代表として、もともと県の方で行っていた、
0:31:10	を中心に至ったりビジョン率。
0:31:14	というその趣旨に合致するような代表になってくるんだと思いますので、より、

0:31:22	適正なものになっていくんだろうと思ってます。一方作業は着手してなかったものをさ、着手しなきゃいけないので、
0:31:33	グループ 1 の詰めをしていくところの負荷が増えているということはそうだろうなと思ってます。一方で、
0:31:44	機器が増えたり何なりっていうことでやって担当者も増えることになるような気がするので、
0:31:52	人海戦術のような形になって対応。
0:31:55	すぐできるんじゃないかなというふうに思ってますけど。
0:31:59	どんな感じですかね。
0:32:01	はい。弓削ニシダでございます。はい。逆に言うと、担当者が重ならないように代表を選ぶというのも、
0:32:09	アイデアな気もしますので、そういうことも含めて考えないといけないなと思ってます。負荷がどっかに偏るようだとまた、負荷が偏ると、かえってものがブラッシュアップされていくというか、
0:32:21	精度が上がるような気もしますけど、一方、%的に間に合わないっていう言葉が出てくるので、両方見ながら、整理をしていければと思います。
0:32:32	はい、細田です。よろしくお願いします。以上です。
0:32:37	はい。その他グループ 1 関係で、特になければ、
0:32:41	89 ページ目以降、
0:32:43	子供に住みたいと思い、
0:32:47	構造設計の話で、
0:32:50	まず最初にステータスだけ確認したかったのは 91 ページと 92 ページ目で、
0:32:57	例えばグループ 1 でも、塗りつぶされていないものっていうのは、資料として用意できていないものは塗りつぶしていないっていう理解でいいんですかね。
0:33:10	青色に、はい、吉田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。代表の話も含めて、あとは先ほどグループ 7 から、
0:33:21	持ち上げたものは、特に現状の共通順位は載ってませんので、そういうことも含めて、現状、準備できていないものは、資料的にしたままというふうに思っていました。
0:33:33	はい。
0:33:34	了解です。
0:33:36	そういう意味だと、判例の、今回一部説明対象っていう、その一部っていうのはどういう意味なんでしたっけ。
0:33:45	91 ページ目の、うん。



0:33:49	塗りつぶしてるけど、完璧ではないと認識してるってそう。そういう感じなんです。
0:33:55	うん。ですね。難しいですね。
0:33:58	MOXで言ってた一部説明対象とはまたレベルの違う一部説明対象になって、
0:34:04	気はしますが、はい。
0:34:07	かすってるものも含めて、はい。
0:34:09	青にしています。はい。
0:34:11	わかりました。
0:34:14	コサクです。それで言うと 10 条のところは、青色のものもあるんでこれも大事になると思うんですけど、
0:34:23	ネットの方が入ってるから一部は説明するというので、色が塗られているということ。はい、西浦でございます。はい。おっしゃっていただいて、前回私がグラデーションしてたのはまさしくこういう部分特に例えばですけど、
0:34:37	8 条 36 条のところもう入っているものと入っていないものがあるっていうのを認識した上で前はグラデーションかけたりしてたんですけどグラデーションの意味もわからなかったので、何か一部が入っていれば、るという形にさせていただいています。
0:34:55	そういう
0:34:57	規制庁アライですけどそういう意味だと 8036 条の 1 ポツの書き方で※2 って書いてあってそのあとのカッコ八条っていうのは、
0:35:06	(8)上、第 8 条だけん、
0:35:11	これ難しいああいうものでございます再処理はですね 36 条第 1 回出してないんです基本設計方針を、MOXと並びで、
0:35:21	比較をしながら私はしたことあるんですけど、基本設計方針上、設工認、2 ページを計上してなかったの、あくまで八条だけが対象ですということ(8)譲渡カせていただきました。
0:35:36	他のところっていうのは大丈夫なんですかね、上のやつとかっていうのは、
0:35:42	これは、
0:35:44	はい、与儀西原でございます。
0:35:50	ですね。
0:35:52	そういう意味でいくと、最初に耐震の 36 条も、
0:35:58	入ってこない、入ってないね、藤松波は唯一津波の条文側でこういうものは 36 条に振りますよというフラグは立てているので、何となくその趣旨は、

0:36:13	見え隠れをしていますが具体の設計を示しているわけじゃないので同じように、一部ないと、ということですかね。はい。
0:36:22	木曾院長大川です。関連したところで聞いたかったんですが廃棄物って今回初版なので、
0:36:28	廃棄物の扱いってここどうなってますか。
0:36:32	はい、宮城瀬谷でございますちょっとやり方を考えますがMOXの時に書いた基本設計方針等の要求事項が、
0:36:43	再処理と同じものは、ちょっとそのフラグの立て方をするか、かなと思います。それでも対象がないものは全く今回新規ということ新たに1から説明しますと、
0:36:55	ということだと思うので、この廃棄物おっしゃっていた廃棄物として平気書いてるところの趣旨をわかるように、逆にこれ別の市長にする方がいい
0:37:05	悩ましいなっても合わせて、十分な、
0:37:09	はい。ちょっとIT部です。ない。
0:37:16	今回入れちゃうのであれば、今回一部説明で、
0:37:21	良くてね残り、その一部って言っているのか
0:37:27	なんですかね。
0:37:28	完成品での残り分って意味なのか、今後に残るといことなのかっていう。
0:37:35	本当でいうと、
0:37:39	説明済み部分もあるよっていう場合には、これについては説明済みっていうことで、
0:37:44	何か注記でわかるように、
0:37:47	※2が入ってて、
0:37:51	他、8条のところでは括弧八条って書いてあるように、それは説明済みで、今回はその部分の説明
0:37:59	ということだったりで、
0:38:01	色つけの意味がわかるようにしていただければいいんじゃない。
0:38:05	はい、乳井城でございますはい。承知いたしましたはい。ステータスに応じて、そういった確保も含めた整理をします。はい。
0:38:17	規制庁穴井です。続いて、
0:38:21	一番右側、炊事っていうのは結局、解析評価のやつはMOXに全部ゆだねているので、今回の説明項目としては、今回はこの部分は再処理廃棄物にスコープを当てているので、
0:38:35	特にそこに橋渡し的な言及はないっていうそういう整理をしてるってことですかね。

0:38:43	はい。読みニシダでございますはい。まず今の現状の改定主旨はそういうことです。はい。
0:38:51	意味だと。
0:38:56	112 ページ目だとかだと最初に廃棄物、
0:39:00	ボックスというところが書いてある。
0:39:04	はい。全体通した方針だということの趣旨ですので、
0:39:10	113 ページ目、頭がついて、
0:39:12	名簿実験だっとうち、
0:39:14	ぐちゃぐちゃやな。はい。112 ページの頭の趣旨に従って入っていただきます。はい。
0:39:29	あとコサクですけど、現時点でまだ整理できてないからこう表現されるのはしょうがないにしてもですね。
0:39:38	112 ページ以降説明の整理方針がですね、
0:39:43	整理をされていくということであればそれにのっかって整理をしていきますと。
0:39:48	いうことであって、次回出てくるのかどうかというようなことは話が、
0:39:55	できるんですか。
0:39:58	はい。井上志田でございます。はい。ここ、そうですね、提示ではなくその趣旨がわかるようにさせていただきます 114 ページ以降での家整理の方針に基づいて、
0:40:11	今後、このグループの設定なり何なり、
0:40:15	いうことの整理をしていくということの趣旨にさせていただければと思います。はい。
0:40:26	はい。
0:40:29	そうしましたら、中身なんですけども、規制庁です。今の表でまだちょっとないことがありまして、先ほど説明があった 28 条換気設備は、
0:40:40	これは、1 ポツのところは、白抜きにされるって先ほど白抜きにしようと思ってました。
0:40:49	2 ポツの方は、今回説明範囲ではあるものの、今回の説明では入ってこないから今白抜きてるってことですか。
0:41:01	はい、吉田でございます。はい。資料自体も、カワセデータの話一切今 11 月 30 に説明した資料も出てこない。東條させてないので、
0:41:13	そういう意味で、
0:41:16	2 ポツのところの白抜、D、1 ポツを最終的に使用抜きにしようというのが先ほど説明した趣旨で、
0:41:25	はい。政調会で 1 ポツの方は特に何も書かないと後ろ向きになるんですけど。はい。はい。

0:41:32	はい。
0:41:32	さっきも関係する人受 10 条閉じ込めなんかのフィルターの追加設置なんかも、
0:41:39	同じようなケースでただここは一部説明し、一番上の方から状況を説明しているからということで、
0:41:46	相神にしていると言うことは、
0:41:49	はい。その通りですました。ちょっとただこの表の中で、前回からもあるんですが、もう何も書いてないセルがあると。
0:41:58	浮くんですよ、やっぱり。
0:42:01	今、28 条の 1 ポツって何も書かないゼロになるってということなんですよ。
0:42:13	2 番目のシェアでございます。28 条ですよ、28 ページの白抜きなんですけど、あとは今※1 を打ってる姿勢は変わらないと思ってますので、
0:42:25	ごめん値は残してと思ってましたが、あ、はい。わかりました。じゃあ、それでしたら、はい、はいないと。
0:42:33	以上です。
0:42:37	この全体的な表でございますか。
0:42:45	特になければ 93 ページ目以降、
0:42:48	個別の設計方針、
0:42:50	暖房対策の方に行きたいと。
0:42:54	それで、いろいろ表をつけていただいたり最初に 93 ページ目 D の部分つけていただいたりしているんですけども、
0:43:04	まず、
0:43:08	換気塔が 97 ページ目で一応 0 の範囲とか書いてあって防護対象塗りつぶされてるっていう状況なんですけど、98 ページ目の津波の方って、特にそういう措置はされないんですかね。
0:43:21	例えば耐震重要施設、重大内ゴトウ対象施設、
0:43:25	農地、常設のやつはここにありますがかっていうイメージとか、
0:43:29	そういうところまではしないってことなんですか。
0:43:40	はい。宮城磯谷でございます。はい。
0:43:45	やらせませす。はい。
0:43:47	多分塗りつぶすだけなので、そこまで労力はかからない。はい。はい。お願いいたします。
0:43:52	はい。
0:43:54	一つは、ヤフー、
0:43:58	99 ページ目以降、

0:44:01	目次で説明するところはオレンジ色みたいなハッチングで書かれているものだと思うんですけども、
0:44:09	最後の 102 ページ目の、
0:44:12	非ヒライ設備っていうのが、
0:44:15	103 ページ目以降は緊対所のやつって、特に出てこなくて実は言うとな 95 ページ目になってるんですけど、
0:44:24	ここって 102 ページ目の最後のオレンジの欄で書く必要ってあるんですか、こういう場合って。
0:44:32	はい、与儀西田でございますちょっと整理はしますが現状はですねこれは棒で関係するところをどこかに明らかに合わせて説明をしようと。
0:44:44	ということで整理をさせていただいているのでは言え構造設計のクラブは、
0:44:50	数ですので、こういう形でリンケージをする形にさせていただきました。
0:44:58	例えば、シンボ時と
0:45:03	全体の更新とか水道THAIを含めたヒライ設備の系統的な仕組みというか、作り、作り込みの仕方は、系統設計で、
0:45:16	それぞれのパーツパーツの設計部隊の技術とかに基づいたこういう材料を使いますとかこういう設計ってのは構造設計でという話なんですけども、
0:45:26	それを切り離して説明すると何を説明してるかよくわからんというのもあるのでセットでこういう形になってます。はい。了解です。それはあれですかね口頭で補足しないでちょっと表が出てきたやつが下に出てくるっていうふうに見えてます。はい。はい。
0:45:44	説明の際に留意いただくのがいいのかなとは思いますが。
0:45:48	はい。日本原燃志田でございます口頭での補足プラス 102 ページの表なりで、
0:45:56	設計の説明を、システム設計のどこどこと合わせて示すみたいなことがわかるようにさせていただければと思います。はい。はい。
0:46:12	もう、
0:46:13	とりあえず私からは、もう一つあって、109 ページ目で、
0:46:19	飛来物防護版、
0:46:25	とは別に飛来物防護ネットの話を説明しているのかなと思うんですが、
0:46:31	前回資料だとCAPプレートってあったじゃないですか。あれ、東郷坂に入るんです。補助防護盤ですかそれとも飛来物防護盤なんですか。
0:46:49	正確に書くと飛来物防護版。
0:46:53	55 番じゃないですよ。はい。

0:46:56	ちょっと正確に書かさせていただこうと思います。前回のトイレは確かに109 ページのところの水色と大井青で色分けしてましたが結局は構造体としてどう見るかと。
0:47:09	ということ、設工認上の扱いをどう考えるのかということで整理をして、母岩の一部ということがちょ、直接支持構造物という言い方もあるかもしれませんが、
0:47:22	結局は防護はこの状態で、保持するためのパーツだということであれば、防護具に対する期待を、ある程度機能の期待をしているんだろうということで同じ色で塗り潰しております。
0:47:33	不アノ線で困ったところは防護ではなくて飛来物防護版という、正式な名前になるようにさせていただきます。
0:47:42	結局昔説明聞いた中では、例えば飛来物防護ネットっていう大きな括りがあって、飛来物防護ネットは何で構成されてるんですかっていう説明を求めたときに、
0:47:55	まずはネット部がありますワイヤーロープがありますとか、
0:48:02	あとはシャックルがありますとか、その中に多分プレートって入ってたような気がしてて、
0:48:09	平メトキ、ごめんなさいコサクです。もうちょっと手前で言うと、飛来物防護ネットっていうナカ2 ネット分と、
0:48:18	もう5 番と。
0:48:20	ありますよ。
0:48:22	はい。いうことになっててネット部の中にシャックルなり何なりっていうのがありつつ、
0:48:28	補助防護ババもあって、
0:48:32	はい。ていう複雑な構成の樹形図になってたと思うんですね。今回のボード版は、
0:48:41	ネットの本ネットの内数の中の防護番なのか、それとは別に設置をする飛来物防護坂野%どっちですか。
0:48:52	宮城ニシダでございます 107 ページの、僕、私もすいません。書いてる呉作り側の趣旨を考えると、
0:49:03	防護ネットの内数の防護盤のことを言ってそうな気がするのでそうすると先ほど申し上げた飛来物防護盤と書くのは間違いでしますね。はい。その位置付けを整理をして、
0:49:16	正確な日本語にさせていただければと思います。はい。
0:49:21	でもこれをネットの数の工場だったら、防護ネットの中に
0:49:28	保坂です。まずそこを整理していただいた上で、それ

0:49:33	分岐になってるところの先ほどのネットであればシャックルと何とかと言っている時に、その扱いとしてこの部分どういうふうに分けていきますかっていうのを、平仄を合わせて整理をいただければと。
0:49:46	はい。二本木伊勢谷でございます。承知いたしました。
0:49:51	はい。
0:49:52	規制庁荒井です。私からは 111 ページまでのこと関係では、以上です。
0:49:58	規制庁課です。今の 109 ページのところ、ちょっと今後共通 12 で説明するときという観点でちょっと聞きたいんですけども、この支持小支持架構柱と今回のタッププレートと呼ばれて前回まで呼ばれていたものの、
0:50:15	ここはつつ、設問してるんですか。
0:50:20	はい。接続させます。はい。させるんですね。はい。これなんで、でも木場側とタッププレートはどういうふうに接続してる人を 5 番とアップグレード側のボルトで締結しようと思って、
0:50:35	はい。前からあったような耐震のためにちょっとだけ余裕を持たせるみたいな話ではなくてもうここはガッツリ全部接合して、
0:50:46	応募するっていうそういう方針なんですね。
0:50:49	はい、イノウエニシダでございますこのピンクで書いてあるところが離隔として確保しなきゃいけない範囲、その外側のものはもう楽器つけて、侵入を防止すると。
0:51:00	いう観点で考えてたというところでございます。はい、わかりました。この支持架構柱の方はネットのもので、そこにつく 5 番の方も全部、今回はネットの方で整理、
0:51:13	すると、まずは、今の説明だとそういうことだと思うんですが、そういうことです。はい、日本イシダでございます。はい。ちょっと私が何か頭がごちゃごちゃしてましたけど、防護ネットの
0:51:24	内数と構成物としていろいろと整理をしていくことになると思ってます。はい。
0:51:29	はい。財津オオオカです。わかりました。
0:51:31	ちょっとこの構造はもう少しどういうふうに接合するかとか、下の方どうなってる上の方となっているとか、もうちょっと今後詳しく見ていきますんでそういうのを共通の方で、
0:51:42	ここでも記載しておいていただけると助かります。
0:51:48	はい、日本のイシダでございますありがとうございます承知いたしました。
0:51:51	はい、清町オカです。あと先ほど話題に挙げたA棟、緊急時対策建屋の落雷の話 95 ページ目なんですが、

0:52:01	この構造設定とシステム設計の関係は、設置局側に接続されている部分までの一連の流れが、
0:52:11	システム設計として扱っているからまずシステム設計側で、
0:52:15	とか書いた上で、
0:52:17	都心なんかもあるんですよっていうことを、ちゃんと構造設計側で説明するために、カップリングしたっていうことですか。はい、西田でございます。本来はこの年も含めていろんな構造体としての
0:52:33	材料とかいろんなものも含めて、構造設計としてかかるということセットで語らないといけないんですけど、語りきれないのは認識をします。その後で設置、
0:52:44	積極との接続っていうその一連の流れのところを、システム設計に説明しつつ、それぞれのパーツの構造をあわせて説明しないといけないという趣旨をもって、
0:52:54	系統設計システム設計側に全部寄せて、一連の流れを説明したいなというのが、もともと考えでした。はい。
0:53:01	はい。同じ認識ではあるものの共通中に、今後回数改定していくときも、このぐらいなんですか。
0:53:11	もう構造設計の方がもう少しちゃんと書かれると。
0:53:14	はい。日本原燃瀬谷でございますさすがに構造設計はもうちょっと書かないと、私もさすがにこれだと辛い説明できないなと思ってた。
0:53:23	はい。はい、規制庁笠野ソウノミキを確認したかった。
0:53:27	ノロササキです。
0:53:30	構造設計を追加するのは当然としてですね、説明内容もう足りないと思って先ほども言われたように、突新手じゃこれで耐震もつのかとかかっていう話の方にも説明できないし、
0:53:43	説明項目としても全く抜けている。
0:53:46	検査性とかも入っていないというようなことだと思いますので、漏れのない対応をお願いします。で、もし代表と違うのd差分、同じなんで書きませんっていうことであれば、
0:54:00	何らかそのフラグをっていうことだったかなと思うんですけどどういう整理でしょう。
0:54:06	はい。乳井ニシダでございます。はい。まずおっしゃってたようにこのハイ設備に対して何を代表にするかと。
0:54:13	衛藤代表との関係で差分があるもの、特にこの落雷の場合は、270 キロペアの四半期と折笠に入るものはいらないもの、まず設計が違うのかどうか。JISに準拠したという意味では同じようなものなんですけど、
0:54:29	とはいえ、保護レベルも含めて、



0:54:32	差分があるのかないのかというも全体整理した上で、代表で説明するものについてはまずおっしゃっていた関連条文での要求事項を全部並べて、この一連のものについて、三つ、
0:54:43	設計上の差分があれば差分として、この後にですね、差分のものとしての、何が差分があるのかというそれに対する設計を示していくと。
0:54:54	ということだと思います。思ってます。それがルールだということで認識をします。さらにちょっと悩ましいっていうかちょっとさらに考えなきゃいけないと個人的に思っているのは、システム設計と構造設計を合わせ技でやった場合に差分が例えば構造設計にあった場合、構造設計にいきなり登場させてもわからないので、
0:55:12	その一連のパッケージをどう示していくと、よりわかりやすい設計になるのかなという、長さ流してみたときの見やすさということも含めて考える必要があるというのは思っていました。
0:55:23	はい、古作です。
0:55:25	今日の資料だとそういうことをやろうとしてる様は見えないんですけど、
0:55:30	それはまだできてなくてこれから精査するのってことですか。
0:55:35	はい。井上瀬谷でございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思っておりますまずは再処理としての特徴の宿題だと。
0:55:45	ということではなくて、MOXでも十分先行してやってやっていたはずの、資料3の②でいう代表をとしているものと、サブの関係。
0:55:56	代表で書くことって何っていうところがうまくブレークして書ききれないっていうのがまずステータス等と、あと代表以外のものっていうのを、代表を選んだときの考え方。
0:56:08	丁寧に整理できてないので、多分の出し方も中途半端ということかと思っていました。
0:56:14	はい。
0:56:16	わかりました。整理を進めていただければと思いますが、もう一つ先ほど
0:56:23	ヒライっていうヒライ設備としては、
0:56:28	はい、主排気塔でイチロー電流値のものと、それは拾い切れない電流値のそれぞれの対策と分かれるっていうのはシステム設計とは言わない。
0:56:43	はい、与儀西田でございますはい。システ
0:56:47	プラス配置も含めてかもしれませんけどだと思います
0:56:51	そこの全体のストーリーも、書いてなくていきなり障害等が構造設計でボンと出てくるところも、ストーリー展開がうまくできてないと。

0:57:02	基本設計方針の設計思想を見て、ちゃんと系統設計なりの全体の仕組みを整理していかないといけないと思っていてそれは
0:57:12	追いついてないのは、DBの設計項目の整理と、やってる時には当然そういうお話をさせていただいて、270の傘に入るという全体のものとそれ以外のものっていう仕分けをするという全体のシステム設計統括。
0:57:26	配置の関係で272ヶ所に入るものは要らないものっていう、それぞれ設計のインプットの条件というものを、それぞれ並べて全体ストーリーとして説明しないとイケないと思ってましてそれが、完全に、
0:57:39	全体ストーリーがまず欠落してるのと、スタートを出してそれが繋がってないという悪さ加減と、両方含めてあるとか。
0:57:49	コサクです。そうすると、この図はさておき94ページのところにはそういったことが見えるようになるのかなと期待してたんですけど、出てこないってことはまだ資料2も精査できてないってことですかね。
0:58:03	はい。日本インダでございます。はい。恐縮でございますDBの設計項目でやってるやつがうまく資料にフィードバックがかけられてないというのが現状です。その整理をまずやらないと資料3が作り込めないの、そういったことも含めて、
0:58:20	対応を進めていければと思ってました。
0:58:24	はい、コサクインダ状況はわかりました。
0:58:26	以上です。
0:58:29	10日です。あと、このグループ1関連の説明で1点だけ今回外部と、浅井の塗装のページ111ページですね。
0:58:40	木曾の方を少し明確にしてもらいましたが、
0:58:44	やっぱり外部火災の塗装範囲でしか競って登場してこないんですね前のページとか前。
0:58:52	ページでも出てこないで、
0:58:54	突然これ外部火災の塗装の範囲を示す時だけ登場するっていうことが、すでに何かもうちょっと、
0:59:05	し恣意的というかですね、何か離隔をとるためにあえて、その部材になっている印象を持ってしまうので、統一感を持った対応をしてもらいたいというのが前々から、
0:59:18	お伝えしていたところだったんですが、
0:59:20	今回も結局ここだけでしたが、その辺で社内ではどうなってます。
0:59:27	はい、二本木西田でございます。ちょっと整理を進めさせていただければともおっしゃっていただいたように外部火災で突然登場するというよりは、その前の、
0:59:40	竜巻等、今、

0:59:46	耐震の関係ですね、でやってる、その防護ネットなりの構造物としての共同確保する部位っていうのがどこなのか、その機能を維持するために必要なアプリというのは何なのかと。
0:59:58	いうところの位置付けとのリンクで、基礎が必要であれば、当然基礎の話になるし、ということだと思いますおっしゃっていただいたように 108 ページ見てもいきなりCG学校しか出てこなくて、
1:00:10	基礎の話一切出てこないの、
1:00:13	素行でいきなり外部火災で人が出てくるっていうと、もともと等、
1:00:19	評価上というか構造設計上タップしなきゃいけないのが支持架構だと思っている人たちが、
1:00:25	火災の位置を遠くにするために、市企画課の人はいきなり出してきただけというふうな恣意的な見方をされるのは、
1:00:33	おっしゃる通りだと思うんでその全体の仕組み整理をしていければと思います。まだそこまでうまく整理ができてないのか。
1:00:42	はい。清長官、
1:00:45	反省されたと。
1:00:47	できたっていうことで、
1:00:50	思っていますがおっしゃる通り、基礎の幅とかも大事な設計コンセプトなのに、耐火塗装の幅を取るためだけに今は
1:01:01	ある、存在するっていう存在意義が、完全に何か変な方向に行ってしまうような見え方がしますので、そこはここを共通中にはしっかり
1:01:11	整合した考え方で、説明いただければと思います。以上です。
1:01:19	はい、植野石田でございますはい、承知いたしました。
1:01:25	はい。オカ 111 ページ関係までで、
1:01:31	ございますか。
1:01:37	はい。そしたら 112 ページ目からの
1:01:40	解析評価等の方に行きたいと思います。
1:01:45	私からまずだけなんですけど、114 ページ目にフローは書いてあり、
1:01:53	それで
1:01:54	フィードバックをするような仕組みがありますっていうことが書いてあるんですが、
1:02:00	これって
1:02:01	三つ目と二つ目の箱だけの関係。
1:02:05	何ですかね。
1:02:06	例えば

1:02:09	例えば設定根拠の評価関係の評価をやるときに、インプット条件が実は足りませんでしたってなった場合には、最初の一つ目のところに戻って資料 2 から、
1:02:22	1 回精査しないといけないっていう可能性も出てくるのではないのかなって思ってるんですけど、いかがですか。
1:02:29	はい、日本イシダでございます。ご指摘の点は、全くないと言ってきてできるものではないと思う。
1:02:37	そうした時の、
1:02:41	対応ができるように、フローにフィードバックの形を、とはいえこれフィードバックすると、前ページの 1 ポツどころか、資料 2 に戻ってしまうので、
1:02:53	この書き方をどうするかっていうと、この枠を超えてさらに上側に行かないといけないと悩ましいなと思ってましたここに
1:03:04	そうですね。フィードバック書いてあるところの線にさらににスポーツ、いわゆる評価項目野瀬。
1:03:12	とかの整理、であったり、評価方法評価条件等の説明を整理をする中で
1:03:22	評価の項目のフラグを立てなきゃいけないものを、それに関係する前提となる構造設計等の説明の不足等があれば、資料 2 さん側にフィードバックをかけるというのを、
1:03:34	何らか注記なり込めなりで、付していくと、いうことで対応させていただきたいと思いますはい。はい、そうですね矢印をやると。
1:03:44	枠を超えてしまうっていうところも、対応するにはそういう書き方しかないのかなと思いますので、はい。わかるようお願いいたします。
1:03:56	藤。はい、井田でございます承知いたしました。
1:04:00	はい。
1:04:01	他 112 ページ目以降でいかがでしょうか。
1:04:06	規制庁岡です。
1:04:07	じゃあ、今回追加された 126 ページ目の、
1:04:11	ところの説明。
1:04:15	3、
1:04:16	3 ポチ 3 の、
1:04:18	ところで、ここで言いたかったのはベースとしてまず床面積から、
1:04:27	検討しますと、ただ、漏えいされている液位 2 の中で針とかがあったり、何か構造物があったりするので、そういう場合はしっかり体積から除きますということと理解していて、

1:04:41	それは当然ながら、漏えい液受け皿だけじゃなくて、漏えい防止堰の方もそういう考えで設計されるということでよろしいですか。
1:04:54	はい。以上でございます。はい。同じでございます対象物があるかないかって話は別として基本的考え方同じです。
1:05:01	はい、規制庁笠野そこも明確になったと思いますので。はい。それだけ。
1:05:07	長です。
1:05:09	コサクです。それで言うと、同じ考えなのにもかかわらず、ボポツで式が違うのは何ですか。
1:05:24	はい。宮城ニシダでございます。はい。
1:05:28	私が手が回らなかっただけです。はい。ココスも本当は、同じ考えでしたと。時期が同じになって、どっかの項目で考えるベースが、
1:05:39	若干プラスがあると、ということかと思しますので、ちょっと考えます。はい。
1:05:56	あと、
1:05:57	瑣末な問題なんすけど、規制庁アライですけど 120 ページ目で、
1:06:04	言葉だけの問題で、資料 3 については説明時期って言ってて、資料については説明タイミングとかって言うてるんすけど、説明時期でいいですよ、まず。
1:06:16	はい。時期でいいです。はい。最後のの設定の定義がかぶって誰がするので、
1:06:24	はい。失礼しました。はい。はい。関主幹お願いいたします。
1:06:35	他解析評価等の関係で、
1:06:39	ございますか、資料全体。
1:06:43	でも構いませんけども、
1:06:46	じゃあ、別紙、別添の方ってどうなってますでしょうか。
1:06:56	別添と別添でつく共通順位ですよ。はい。西條準備中です。先ほどあった
1:07:06	説明グループの関係でまたちょっと若干作業が必要な気もしますので今まさしく並行してやられているところでした。
1:07:15	はい。それ 10 日です。提出は、今日の午後、午後は午後です。はい。
1:07:24	それを 1 秒間、流砂操業後操業二輪車の上でねっていうけど、はい。
1:07:36	頑張ります。
1:07:39	とりあえずはい。
1:07:41	わかりました。
1:07:46	はい。ここは全体通じて、70、
1:07:50	4 ページ目以降とかで、

1:07:55	はい。作業もあると思いますので、
1:07:58	ざっと振り返りもポイントだけ。
1:08:02	いただければと思いますがいかがですか。
1:08:06	はい。与儀ニシウラでございます。はい。2 ページ含め
1:08:15	最後の項目のタイトルは全体すいません。だつてないところいっぱいあるのは、
1:08:20	はい。
1:08:24	一つは、79 ページの道路の書き方ははい今日お話をいただいたやりとりさせていただいたもの。
1:08:32	誤解がないように、
1:08:36	D82 ページ以降のグループの表は、今並行して作業ベッパ. 0 付ける共通順位の別添 1 との関係を踏まえてはい、ちゃんとした状態になるよう、定義、
1:08:50	います。
1:08:51	はい。
1:08:52	91 ページ 92 ページの表は、まず青ハッチングの整理をするのと、あとは 1 回で説明しているかどうかとこのステータスだったり廃棄物との、
1:09:05	再処理の違いであったりということは、括弧書き含めて記載を整理すると。
1:09:11	あとは辻井と檀にしている 2-2 のところは記載を、そのあとに出てくる解析評価等に係る
1:09:20	整理方針等というものを、補助整備方針の間に沿って、
1:09:26	今後を示していきますということのステータスがわかるようにさせていた
1:09:30	ます。
1:09:31	はい。
1:09:33	あとは
1:09:37	目標値をいくつか出たその日、
1:09:41	学内のシステム設計と構造設計が飛ばし合うところは鳥羽須川の 102 ページの行動セキ側に、何らかシステム設計、これはもうちょっと、
1:09:51	後で鉄筋を示すということがわかるように、
1:09:55	表の中の、
1:09:56	今の説明内容、学校関連条文と書いてあるところの場所の説明を拡充させていただき
1:10:05	はい。
1:10:07	はい。あとは、

1:10:10	あ、失礼しました。津波の医療ははい。耐震重要施設、重大事故等対策のうち、常設重大事故等、常設重大事故等対処設備、
1:10:22	殊、常設耐震重要だよね。
1:10:25	はい。セトフジイ顔といろんな場所を色塗っておきます。
1:10:32	はい。あとは、
1:10:36	あとはこの絵は、
1:10:39	さあ、はい。
1:10:40	109 ページとかの防護番ははい位置付けをもう一度確認して正確な表現になるように、
1:10:49	はい。
1:10:50	あと、解析評価等のところは 114 ページのフィードバック呉会の以外の場合だったり 2 だったりというところで、資料二、三へのフィードバックをかける必要があると。
1:11:03	いうこと、場合もあるということがわかるような住宅を出させていただきます。
1:11:09	はい。あとは、120 ページのタイミングと時期であってないところを設定の底が下部、
1:11:20	26 ページですね、サンポさん直したんですけど、ポポツ直系なかったところは、これもちゃんと類型化をするなら、基本の考え方に沿った意識を変えて、
1:11:34	上でいってるただし書きのようなものがある場合はその式の中で、ナカスギ
1:11:39	いうことで整理をさせていただきます。はい。
1:11:43	医療です。
1:11:44	というのと、前提並行でやってる方はもうすでに終わって、一つが終わって、ただいまからなるべく早く資料を出すようにというような、
1:11:55	会話にもなっているので、' 資料のタイミング時間とかを別途、調整をさせていただきます。と思います。
1:12:04	はい。全体通じて何かこちらがございますか。
1:12:10	特にないので、これでホームページ、